

はじめに

「自分に合ったインターンシッププログラムを探している」「どんなインターンシップがあるのか知りたい」という学生の皆さんや、「自社の魅力を学生に知ってもらいたい」「学生の視点を生かした事業に取り組みたい」と考える企業のために、平成30年度に三重県で実施した3タイプのインターンシッププログラムについて事例をもとに紹介します。


1. 短期インターンシップ（取材型インターンシップ）

気軽に参加できる取材型1dayインターンシップで



三重の企業の シゴト&働き方の魅力を感じる！

三重には約80,000社も事業者がありますが学生の皆さんにはあまり知られていません。そこで、三重県の特徴のある業種やおもしろそうな職種をより多くの人に知ってもらうために、短時間で参加でき、かつみんな学び会える取材型インターンシップを実施しました。




取材&見学編

地域企業の“やりがい”や“働き方”を感じてみよう！！

三重県内で事業や働き方で意欲的な取り組みをしている企業にスポットライトをあて、若者が就職時に重視している“やりがい”と“はたらきやすさ”の観点から魅力を深掘りするツアーを開催。従来のバスツアーでは、実現できない少人数&コーディネーター同行の取材型インターンシップです。

地域を業種から見てみよう！

1日で三重県の主要な産業である「ものづくり・食と観光・生活サポート」を3つ周り、みえのシゴトをマクロな視点で業種から理解する。



シゴト&働き方の魅力的な企業

テーマ別魅力企業 <ul style="list-style-type: none">若手&女性活躍グローバル&イノベーション老舗企業の挑戦面白い仕組みの会社メディアが取り上げるような面白い企業	表彰&認定登録企業 <ul style="list-style-type: none">三重のおもてなし経営企業選みえの働き方改革推進企業三重ブランド認定事業者みえ次世代育成応援ネットワーク加盟企業三重県が表彰&認定している実績のある企業
--	--

地方の中小企業の印象を変え、意欲を高める



三重県には約80,000社の事業者がありますが、学生の皆さんが県内の企業を知る機会はまだ多くありません。平成30年度に実施した取材型インターンシップは、1日で3社の企業を訪問し、それぞれの企業の魅力を深掘りしました。訪問当日は専門コーディネーター

が同行し、オリエンテーションやフィードバックを行いました。平成30年度に実施した取材型インターンシップは計13日間開催し、計27社44名の学生が参加しました。

◆シゴトラベルの開催スケジュール例（H30年度実績）

スケジュール	訪問企業名	業種	地域
1社目(午前)	ICDA ホールディングス株式会社	自動車販売関連事業など	鈴鹿市
2社目(午後)	株式会社浅井農園	農産物の栽培および農業に関するコンサルティング業務など	津市
3社目(午後)	大起産業株式会社	産業機械や航空機器の製造・開発など	木曾岬町
終了後はコーディネーターにより参加者にむけたフィードバックを行った			



◆参加学生の所属／順不同（H30年度実績）

三重大学、京都産業大学、中京大学、社会事業大学、鈴鹿医療大学、皇學館大学、ルイスアンドクラーク大学、東京理科大学、三重短期大学、四日市大学、名古屋市立大学、宮崎大学、東京大学、名古屋デジタル工科専門学校、立教大学、岐阜大学、愛知学院大学

◆参加学生の声

- ・普段は決して関わることのない企業の社長と話す機会を持てた。
- ・インタビューの仕方を実践で学べた。話を聞きながら質問を考えるという訓練ができた。
- ・企業のホームページだけではわからない、雰囲気、現場の実際、経営方針などさまざまな面を知ることができた。
- ・大学の専門分野以外の業界を見ることができた。
- ・2社目、3社目に自分の聞きたいことを聞くことができた。またコーディネーターがインタビューに対して的確なアドバイスやフィードバックをくれた。
- ・自分の就きたい仕事に出会ったかもしれない。今まで自分が触れて来なかった業界3社を見ることが出来た。

◆参加企業の声

- ・少し突っ込んだ内容の質問もあり、皆さんよく企業のことを調べているのだなと少し驚

きました。私自身の就職活動の時の考え方などを思い出し、懐かしくなりました。

- ・学生の皆さんのモチベーションが高く、私自身新たな視点から仕事を見つめ直すきっかけになりました。

- ・面接や就活セミナーではこちら側の一方的な説明になりがちなので、学生側の意見を聞くいい機会になりました。

2. プロジェクト別インターンシップ（PBL）

地域課題を実感できるプロジェクト別インターン

約5日間で地域課題に触れ、調べ、企画し、提案するプログラムです。地域の現状をより深く理解し、問題解決能力の向上と自分が地域で「働く」「暮らす」というキャリア観の醸成が期待できます。

特徴①

テーマはどれも 地域課題の最前線！

今回、企画したプロジェクトたちはどれも地域課題の最前線です。地域の人々が本気で取り組んでいるそんな現場だからこそ学生も本気になります。

特徴②

地域協働型プログラム

地域課題に対して取り組みをしている企業や自治体、NPOなど異なる分野や世代との交流を通してキャリアに対する視野を広げ、地域への理解を深めます。

特徴③

主体性を引き出す活動

自己の成長目標とプロジェクトに対する貢献目標を設定し、ピアラーニング（相互学習）とサービスラーニングで自分中心視点から他者・社会視点に転換を促します。

特徴④

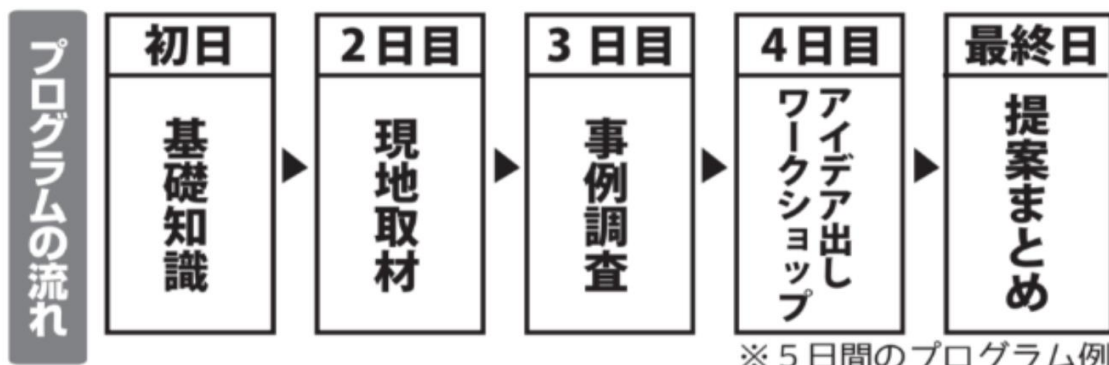
充実サポート体制

インターンシップ運営ノウハウを用い、企業・学生双方が充実したプログラムになるようにフォローします。プロボノメンバーが参加することもあります。

「自分の興味があるテーマについて見識を深めたい」「授業の合間にできるインターンシップを探している」という方におすすめなのが、プロジェクト別インターンシップです。プロジェクト別インターンシップは、現在多くの教育機関で実践されているPBL（プロジェクトベースドラーニング）の形式を取り入れたプログラムです。平成30年度は三重県で起こっている様々な課題をテーマに、企業や地域の現場を調査し、課題解決に向けた提案などを行いました。チームでスケジュールを合わせられるので、授業やサークル活動でまとまった時間がとりにくいという方でも参加しやすいのが特徴です。複数のメンバーとグループで活動を進めるため、チームワークの向上にもつながったという声もありました。

平成30年度は、6つのプロジェクトに対し37名の学生が参加しました。

◆プロジェクト別インターンシップの流れ



◆参加学生の所属／順不同（H30年度実績）

四日市大学・三重大学・慶応義塾大学・中京大学・立教大学・神田外語大学・東京大学・東洋大学・宮崎大学・岐阜大学・愛知教育大学・大同大学・名古屋大学・名古屋工業大学・名古屋市立大学・近畿大学・愛知学院大学

◆プロジェクト型インターンシップの事例（平成 30 年度実績）

ものづくり企業の魅力を伝えるための キャリア教育プログラムを提案せよ！	
活動 内容	STEP1：これからの社会に求められる人物像について議論し仮説を立てた STEP2：ものづくり企業の魅力を伝えるためのキャリア教育プログラムを企画 STEP3：高校生を対象とした、ものづくり企業への取材プログラムを実施 成果：人材育成に必要な要素について議論をまとめた。高校生向けのキャリア教育プログラムを企画・運営した。
参加 学生	【参加人数】 5名 【大学名】 岐阜大学、名古屋大学（大学院）、愛知教育大学、愛知学院大学 【実施期間】 計5日間

地域医療の課題について調査！解決策を提案せよ	
活動 内容	STEP1：四日市市の地域医療の現状について調査した STEP2:考えた手法に基づき、四日市市社会福祉協議会や介護施設に取材を行った STEP3:振り返り、フィードバックを通してより理解を深めた 成果：サービスの提供者に取材をすることで、社会の制度と現場の声の双方を調査し、地域の医療、福祉サービスの課題の一つを明らかにした。 また、サービスの提供者と潜在的な利用者との情報の溝を埋める解決策を考え、世界中の事例を参考に、四日市で実現可能なアイデアを提案した。
参加 学生	【参加人数】 3名 【大学名】 三重大学、四日市大学 【実施期間】 計5日間



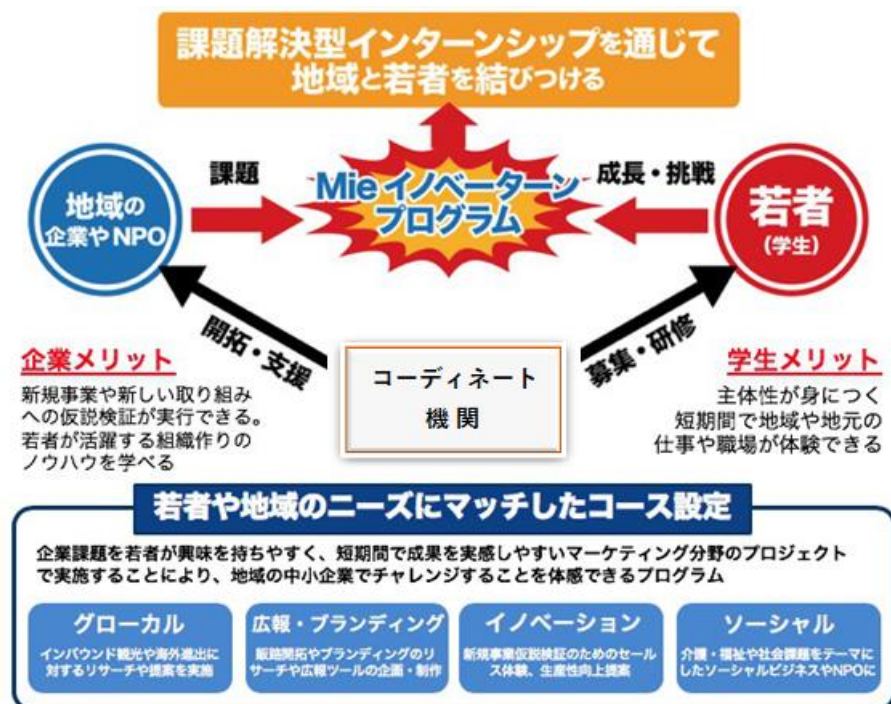
◆参加学生の声

- ・プロジェクトを通しての課題解決だけでなく、働くとは何かということを考えながら参加できた。
- ・普段出会えない人と会うことで、これからの意欲と心意気を確立させる機会になった。
- ・今までは考えたことがなかったキャリアについて、考えるきっかけになった。

◆参加企業の声

- ・学生さんから、実のあるご質問をたくさん頂き、仕事について改めて考える良い機会となりました。
- ・地域の魅力について、学生の感じ方が我々と違うことが興味深かった。
- ・日程調整が難しく苦戦することもあったが、今後も成果が期待できそうなので、継続して取り組んでいきたい。

3. 長期インターンシップ



「より実践的なインターンシップに取り組みたい」「インターンシップを通じて成長したい」という方におすすめなのが、約1ヶ月間の長期にわたって企業の課題解決に取り組む、長期インターンシッププログラムです。

平成30年度は、7社の企業・団体で11名の学生が長期インターンシップに取り組みました。特に県外の学生からの参加が多くみられました。

◆平成 30 年度に実施したプログラム（一例）

自然と共に生きる！アウトドアを仕事にする キャンプ場経営プロジェクト！	
受入先	紀伊長島レクリエーション都市開発株式会社 孫太郎オートキャンプ場（紀北町）
事業概要	キャンプ場運営
実施内容	STEP1：キャンプ場や周辺地域について知る STEP2：集客増加のための新企画を検討 STEP3：道具がなくても楽しめるプラン、アイスとプリンをつくる体験ができるプランを企画・販売した
参加学生	立教大学・東洋大学（1年・2年）
実施期間	36日間



日本発の環境適応型農業技術で世界の食糧生産に変革を！ 海外進出戦略立案プロジェクト！	
受入先	株式会社ポモナファーム（多気町）
事業概要	高密度ナノファイバーシートを用いたトマトやイチゴなどの栽培
実施内容	STEP1：海外展開における背景を理解 STEP2：資料に必要な内容の選択・収集 STEP3：海外向け商談用資料を作成・提案した
参加学生	神田外語大学（2年）
実施期間	2ヶ月～ ※当初の受入期間終了後、双方の希望により実施期間を延長



◆参加学生の所属／順不同（H30 年度実績）

三重短期大学・上智大学・立命館大学・社会事業大学・東洋大学・立教大学・神田外語大学・慶応義塾大学・中京大学

◆参加学生の声

- ・ 沢山の人と出会い話をするなかで、色々な考えがあることを知った。
- ・ プロジェクトでは自分が主体となって動き、やり遂げることができた。
- ・ 一か月間の中で様々な経験をし、色々な人と関わるなかで、視野を広げることができた。
- ・ 他の長期インターンシップ生に刺激を受けた。
- ・ 積極的に行動する自信がついた。

◆参加企業の声

- ・ 学生たちの仕事に対する熱意を感じることができた。
- ・ 体験型インターンシップではできない、実践的なプロジェクトを一緒に担うことができた。
- ・ 学生の成長をどのように引き出すか、受け入れ側の人材育成力が問われる場面が多く、受け入れ側も鍛えられました。

おわりに

平成 30 年度に三重県で実施した、さまざまなインターンシップを紹介しました。インターンシップといっても、それぞれのプログラムの内容や目的、得られる学びに大きな違いがあります。これからインターンシップに参加しようと思う学生や、受け入れを検討している企業の方々は、どのような経験や成果を得たいかを検討し、目的に合ったプログラムを探してみてくださいね。